



(池田)

## 名画の扉

画家が深い思いと時間、技術を費やし生み出した作品を、なるべく変わらない状態で後世に引き継いでいく。こうしたプロの仕事により美しくよみがえった本作は、今月の16日から始まります企画展「松本竣介 子どもの時間」でお披露目となります。ぜひ、きれいになつたこの子に、会いに来てください。

## 文化・芸術

松本竣介（1912～48年）

1943年4月、油彩・キャンバス  
33×24.2センチ（寄託作品）

「子供」

大川美術館は、おかげさまでこの4月に開館30周年を迎えることができました。これもひとえに、多くの方々からのご支援、ご協力のためるものと、深く感謝申し上げます。

さて今回紹介する本作は、当時4歳になる息子を持つ父親でもあった松本竣介の、子どもへ向ける温かなまなざしがうかがえる一点です。こちらの作品、油絵の具がひび割れ、浮き上がったり、欠けてしまつたりしていました。それがこのたび、修復を終え、作品本来の美しさを取り戻しました。昨年の夏に「模写展」を当館で開催いたしましたが、その際の出品メンバーであった修復の方に修復していただきました。

大川美術館企画展から